

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	東京大学	整理番号	G - 3
拠点のプログラム名称	多圏地球システムの進化と変動の予測可能性		
中核となる専攻等名	理学系研究科地球惑星科学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 山形 俊男 外20名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>21世紀の地球惑星科学における最重要課題は多圏地球システムの未来変動予測可能性の探求にある。これを推進するための国際的研究教育拠点を構築し、新しい学問分野「予測地球科学」を確立するのが本計画である。研究面では、まず地質データに基づく地球史の復元と理論モデル計算に基づく地球史の再現により、現在の地球システムの安定/不安定性を定量的に検証する。この検証のもとで、地球内部システム変動及び地球環境システム変動に関する膨大な観測データと高度な物理モデルを統合した大規模シミュレーションにより、地球システムの未来変動予測可能性を明らかにする。教育面では、大学院博士課程に「予測地球科学」コースを設け、国内外教官による地球進化と未来変動予測に関するモデル・データシンセシスの体系的教育を通じて、次世代をリードする研究者の継続的育成を図る。同時に海外の拠点研究機関と連携して海外インターンシッププログラムを推進するとともに、国際共同研究を通じてPDクラスの若手研究者の育成を図る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>これまでの実績に基づき、地球惑星科学専攻、地震研究所、海洋研究所と気候システム研究センターとが実質的に研究者の力を結集して、多圏地球システムの変動現象を明らかにしようとする拠点となり、視野の広い若手の人材を育成することが期待できる。また、COEの計画遂行中に、教科書を書くということは、評価できる。</p>			